

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 30. 4. 27 第 196 回国会第 14 号

4 月 27 日（金）、第 14 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・加藤厚生労働大臣、高木厚生労働副大臣、大沼厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）日本年金機構理事長

水島藤一郎君

（質疑者及び主な質疑内容）

船橋利実君（自民）

- ・国産鶏肉からの薬剤耐性菌の検出率低下に向け、他省庁とも連携して食肉生産者や流通加工会社に対する周知・啓発を効果的に行っていくべきではないか。
- ・認知症サポート医の研修に当たっては、地方在住の医師の利便性も考慮し、e-ラーニング等の活用を早急に検討すべきではないか。
- ・日本年金機構の信頼回復に向けた運営・組織・体制の立て直しの必要性について、厚生労働大臣の所見を伺いたい。

伊佐進一君（公明）

- ・4 月 12 日の経済財政諮問会議における厚生労働大臣の説明において、「2040 年を見据えた社会保障改革の課題」として 2040 年を取り上げた意図について伺いたい。
- ・4 月 25 日の財政制度等審議会において、医療費の伸びに

応じて一定の算式に基づき窓口負担を自動的に調整する仕組みの導入が提示され、年金のマクロ経済スライドとの比較もされているが、どのような課題があるか。

- ・ワクチンギャップについて、平成 25 年の予防接種法改正時の附帯決議から 5 年が経過したが、検討状況について伺いたい。

浦野靖人君（維新）

- ・障害のある子供が使用する子供用車いすについて、認知度を上げるための施策を実施しているのか、また、実施していないのであれば今後どのように取り組んでいくのかを伺いたい。
- ・ギラン・バレー症候群の原因と治療薬の開発状況について伺いたい。

2 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案（内閣提出第 63 号）

- ・加藤厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。